

# 北陸経済調査

## 〔管内経済の概況〕

北陸財務局管内(石川県、富山県、福井県)の最近の経済動向をみると、令和6年能登半島地震の影響は残るものの、復旧・復興需要や北陸新幹線の敦賀延伸効果等もみられることなどから、緩やかに持ち直している。 ※令和6年7月以来、3か月ぶりの上方修正

(総括判断のポイント)

個人消費は、地震の影響は残るものの、ドラッグストア販売が拡大しており、百貨店・スーパー販売が緩やかに回復しつつあるほか、温泉地や観光地でも客数の回復が進んでいることなどから、「緩やかに回復しつつある」。生産は、生産用機械が弱含んでいるものの、化学が緩やかに回復していることなどから、「持ち直しつつある」。雇用情勢は、地震の影響により一部に弱い動きがみられるものの、「緩やかに持ち直している」。

## 〔先行き〕

○ 復旧・復興の動きに加え、各種政策や北陸新幹線敦賀延伸の効果もあって、持ち直していくことが期待されるが、地震等の影響については十分注意する必要がある。

## 【総括判断】

項目	令和6年9月	令和6年10月	前回との比較
総括判断	令和6年能登半島地震の影響は残るものの、復旧・復興需要や北陸新幹線の敦賀延伸効果等もみられることなどから、持ち直しつつある。	令和6年能登半島地震の影響は残るものの、復旧・復興需要や北陸新幹線の敦賀延伸効果等もみられることなどから、緩やかに持ち直している。	↗

## 【主要項目の判断】

項目	令和6年9月	令和6年10月	前回との比較
個人消費	地震の影響は残るものの、復旧・復興需要や北陸新幹線の敦賀延伸効果等もみられることなどから、持ち直している。	地震の影響は残るものの、復旧・復興需要や北陸新幹線の敦賀延伸効果等もみられることなどから、緩やかに回復しつつある。	↗
住宅建設	弱い動きとなっている。	弱い動きとなっている。	→
生産	地震後の復旧が進んでいることなどから、持ち直しつつある。	持ち直しつつある。	→
雇用情勢	地震の影響により一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している。	地震の影響により一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している。	→

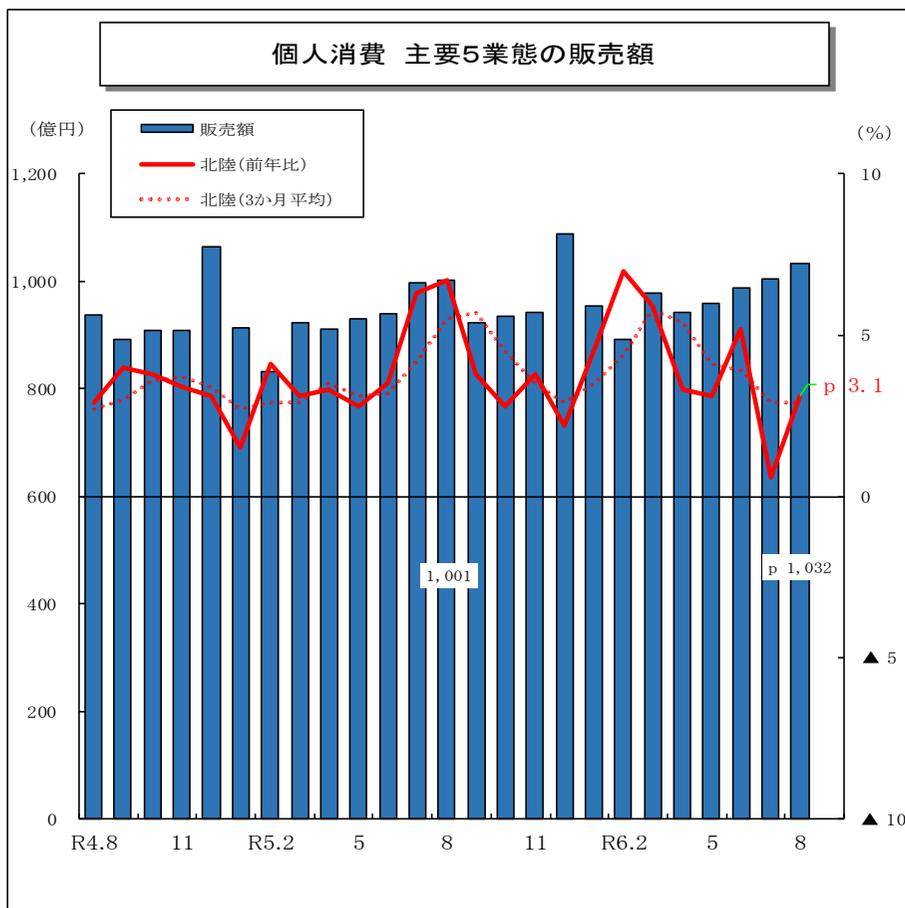
令和6年10月  
財務省 北陸財務局

お問合せ先  
財務省 北陸財務局 経済調査課  
TEL (076) 292-7858

# 1. 個人消費 …… 地震の影響は残るものの、復旧・復興需要や北陸新幹線の敦賀延伸効果等もみられることなどから、緩やかに回復しつつある

※ 前回9月判断(「持ち直している」)を上方修正(令和6年4月以来、6か月ぶりの上方修正)

ドラッグストア販売が拡大しており、百貨店・スーパー販売が緩やかに回復しつつあるほか、温泉地や観光地でも客数の回復が進んでいることなどから、全体では緩やかに回復しつつある。



業態	判断	前回との比較
百貨店・スーパー	緩やかに回復しつつある	↗
コンビニエンスストア	堅調となっている	→
ドラッグストア	拡大している	→
ホームセンター	順調となっている	↗
家電大型専門店	持ち直しの動きがみられる	→
新車販売	緩やかに持ち直しつつある	→
主要温泉地	前年を下回っている	→
主要観光地	前年を下回っている	→

(注1) 主要5業態は、各業態(百貨店・スーパー、コンビニエンスストア、ドラッグストア、ホームセンター、家電大型専門店)の販売額を合計したもの。

(注2) 3か月平均は当局試算。

(資料) 経済産業省、中部経済産業局、北陸財務局

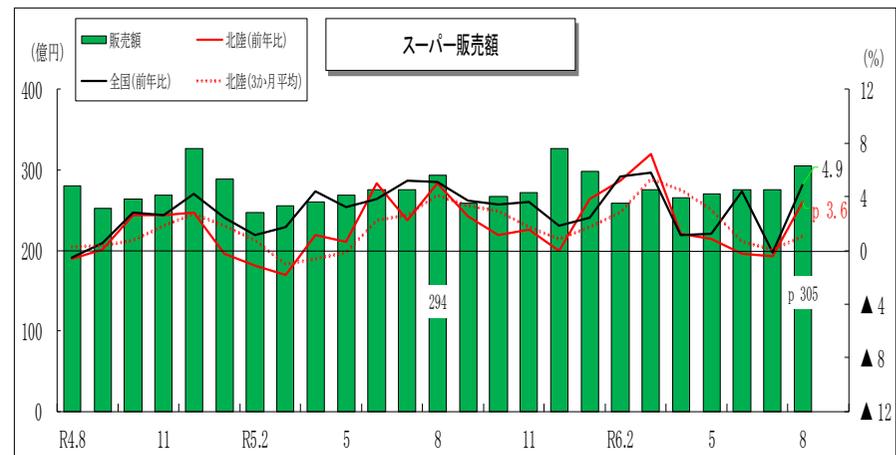
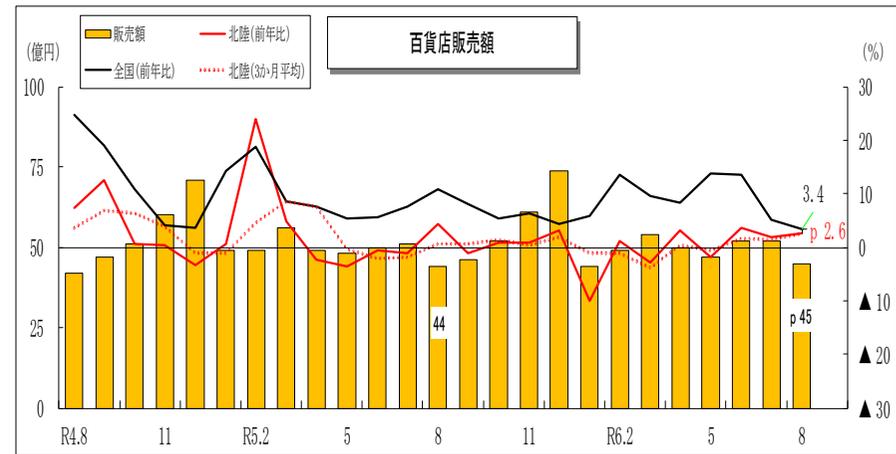
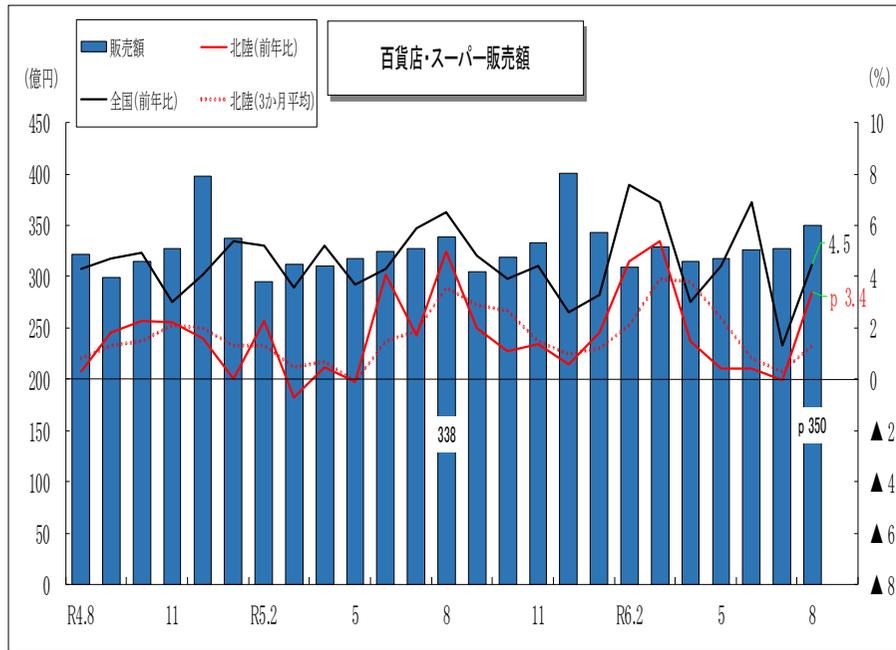
# (1) 百貨店・スーパー販売

8月の百貨店・スーパー販売は、

- ・百貨店では外商を中心に高額品に動きがみられるほか、催事効果やインバウンドにより客数が増加していることから、前年を上回っている。

- ・スーパーでは飲食料品に動きがみられることから、前年を上回っている。

以上のような状況を踏まえると、緩やかに回復しつつある。※前回9月判断(「持ち直している」)を上方修正(令和6年4月以来、6か月ぶりの上方修正)



### (主なヒアリング結果)

- 外商を中心に美術品や宝飾・時計など的高額品が引き続き好調。(百貨店)
- アニメなどの催事が盛況で、物販に加えレストラン利用も増えているほか、引き続きインバウンドによる売上げも伸びている。(百貨店)
- 物価高の影響もあって、日常での支出は抑える一方、催事などイベントにはお金を使うようになっている。(百貨店)
- 食材や油等の価格が高騰するなか、惣菜や冷凍食品がよく売れている。(スーパー)
- PB商品の売上げや特売日をめがけた来店客が増えており、節約志向が窺える。(スーパー)
- 新規出店効果や商品の値上げにより売上げが増加している。(スーパー)

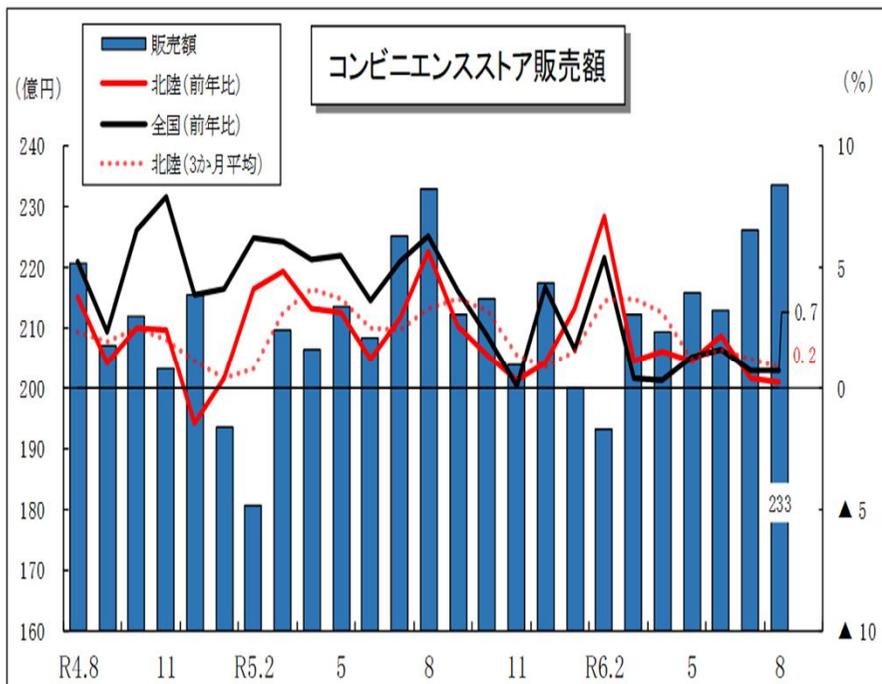
(注) 3か月平均は当局試算。

(資料) 経済産業省、中部経済産業局

## (2) コンビニエンスストア販売等

①コンビニエンスストア販売は、被災地支援者や北陸新幹線の敦賀延伸効果による観光客の来店が続いており、米飯類等に動きがみられることから、堅調となっている。

※前回9月判断を据置き(令和4年8月以降、27か月連続の据置き)



(注) 3か月平均は当局試算。

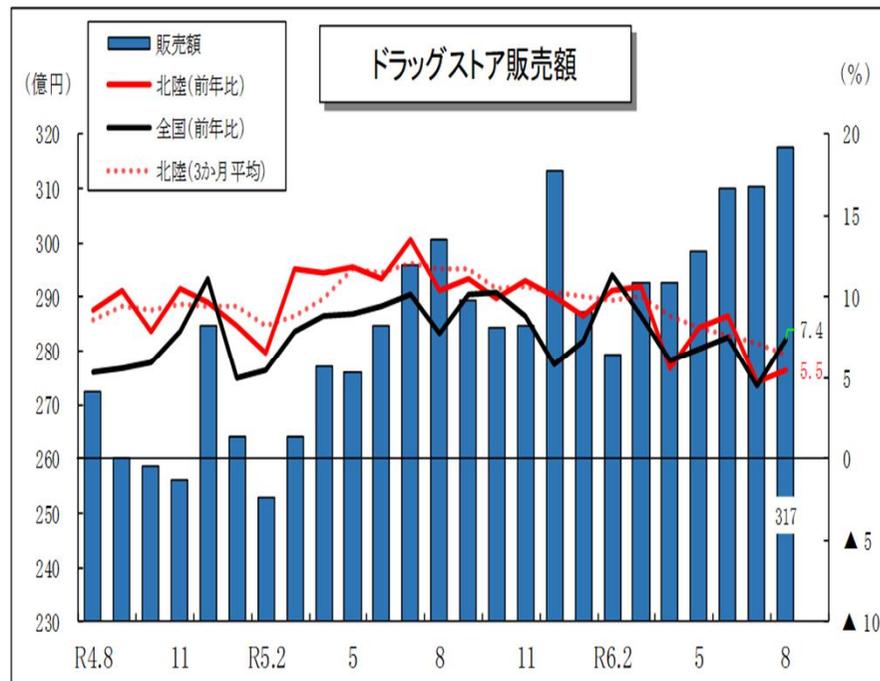
(資料) 経済産業省、北陸財務局

### (主なヒアリング結果)

- >引き続き被災地支援者による米飯類の購入がみられている。
- >台風や大雨の時期は、インスタントラーメンなど保存がきく食品が動いた。
- >足下では、残暑で動きの鈍かった中華まんなどの温かいカウンターフーズが、ようやく動き始めた。

②ドラッグストア販売は、飲食料品等に動きがみられるほか、新規出店効果もあり、拡大している。

※前回9月判断を据置き(令和5年11月以降、12か月連続の据置き)



(注) 3か月平均は当局試算。

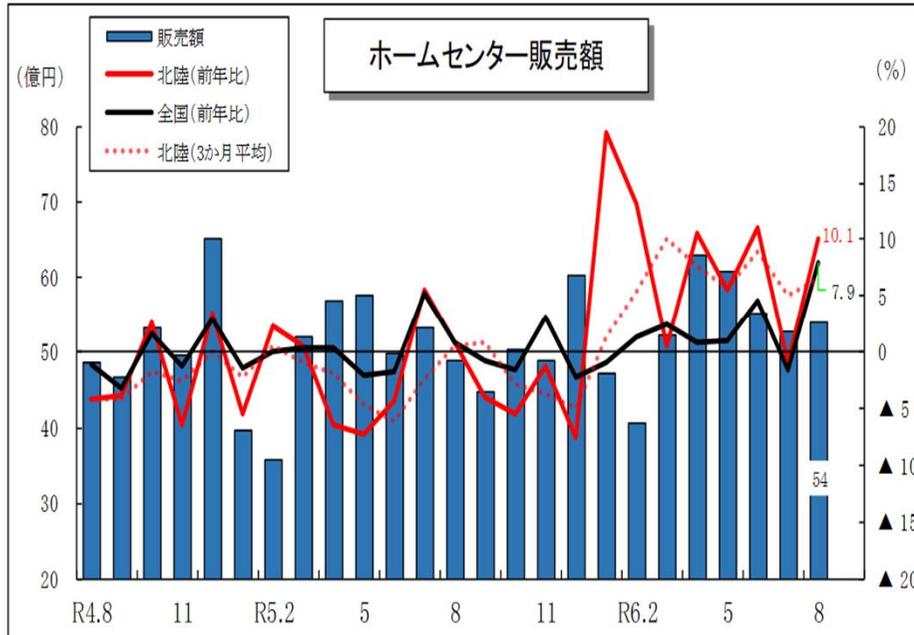
(資料) 経済産業省、北陸財務局

### (主なヒアリング結果)

- >生鮮売場の強化や節約志向の高まりによって、スーパーから消費者が流入している。
- >足下では、激しい寒暖差の影響から風邪薬や乾燥対策商品が動いている。

③ホームセンター販売は、被災家屋の復旧需要によりDIY用品に動きがみられることなどから、順調となっている。

※前回9月判断(「持ち直している」)を上方修正  
(令和6年6月以来、4か月ぶりの上方修正)



(注) 3か月平均は当局試算。

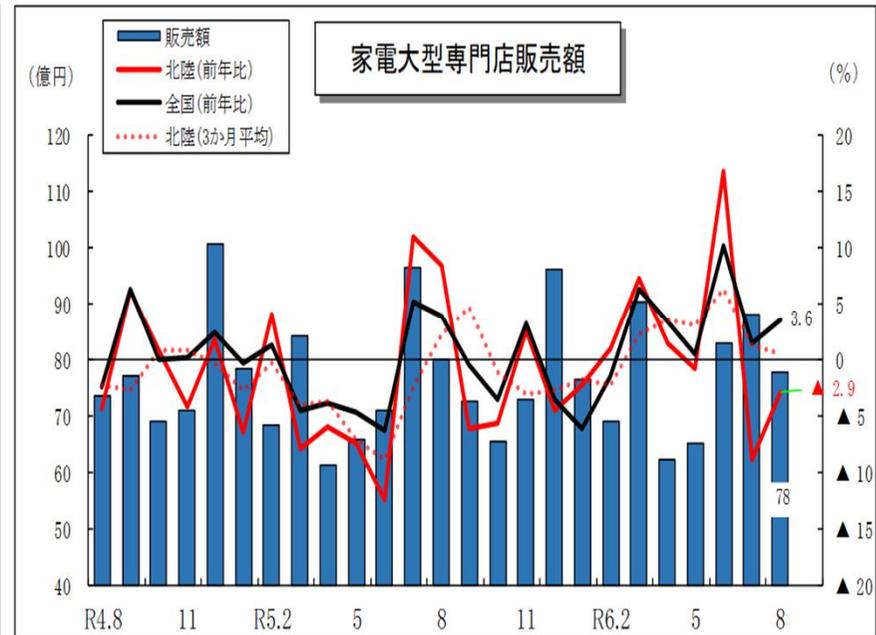
(資料) 経済産業省、北陸財務局

(主なヒアリング結果)

- 引き続き、被災家屋の復旧のための工具・金物が売れており、しばらくは震災関連需要が続くと見込まれる。
- 防災・備蓄意識の向上から水や長期保存可能食品等の防災用品に動きがみられた。

④家電大型専門店販売は、給湯器や洗濯機に動きがみられることから、持ち直しの動きがみられる。

※前回9月判断を据置き(令和6年6月以降、5か月連続の据置き)



(注) 3か月平均は当局試算。

(資料) 経済産業省、北陸財務局

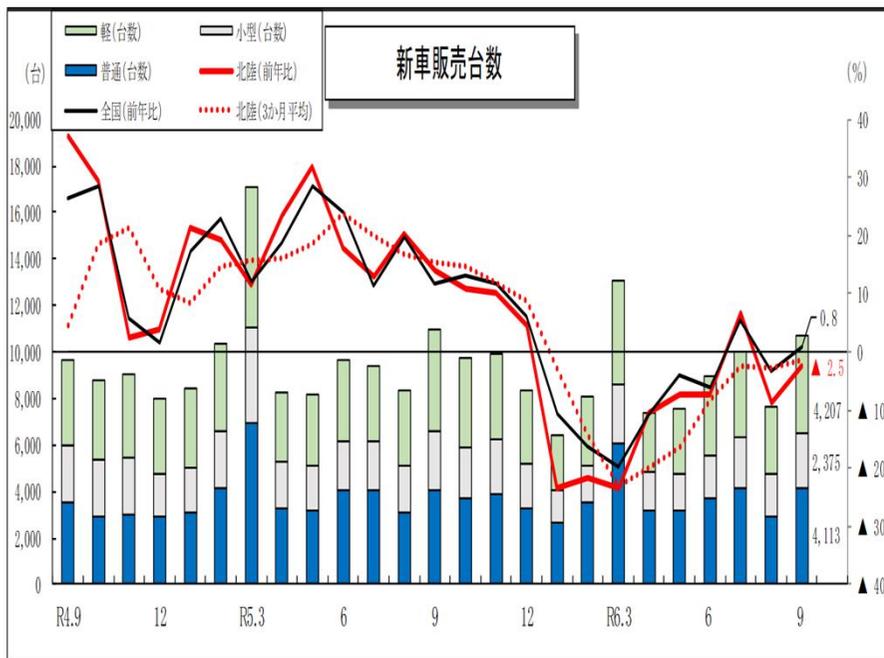
(主なヒアリング結果)

- 昨年の猛暑効果の反動によりエアコンの動きが鈍かったが、モデルチェンジに伴う値下げにより旧型の洗濯機がよく売れた。
- 国の補助金効果もあって、省エネ型の給湯器が引き続き好調に推移している。

### (3) 新車販売

9月の新車販売台数は、前年を下回っているものの、緩やかに持ち直しつつある。

※前回9月判断を据置き(令和6年9月以降、2か月連続の据置き)



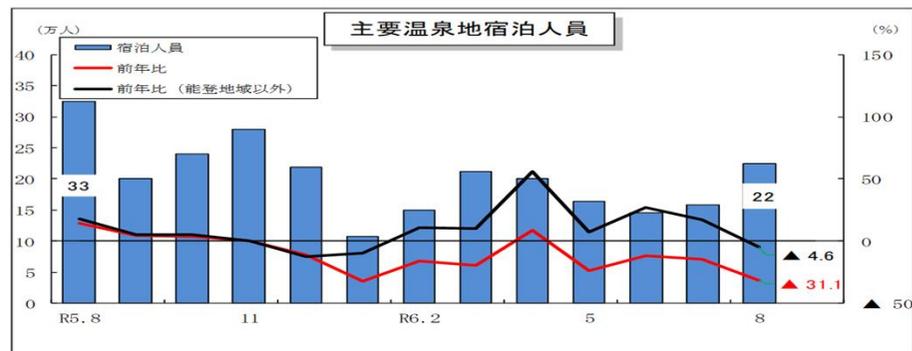
(資料) 日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会、北陸財務局

**(主なヒアリング結果)**

- 出荷停止となっていた人気車種の出荷・生産が再開されており、今後受注の増加に期待している。
- 物価高に伴う買い控えやグレードを下げる傾向はみられていない。
- ガソリン車よりもハイブリッド車を購入する人が増えている。

### (4) 観光・旅行関連

① 主要温泉地の宿泊客数(8月)は、前年を下回っている。



(注) R6.1以降の和倉温泉・輪島温泉は未集計。

(資料) 北陸観光協会

**(主なヒアリング結果)**

- 8月後半は台風の影響があったものの、9月は新幹線延伸等の効果が引き続きみられるほか、コロナ禍以降低調だった団体客に動きがみられる。(加賀: 温泉地)
- 10月からの北陸デスティネーションキャンペーン(DC)に期待しており、足下でも順調に予約が入ってきている。(福井: 温泉地)

② 主要観光地の入込客数(9月)は、前年を下回っている。

なお、能登地域以外では、北陸新幹線の敦賀延伸の効果もあって、前年を上回っている。

**(主なヒアリング結果)**

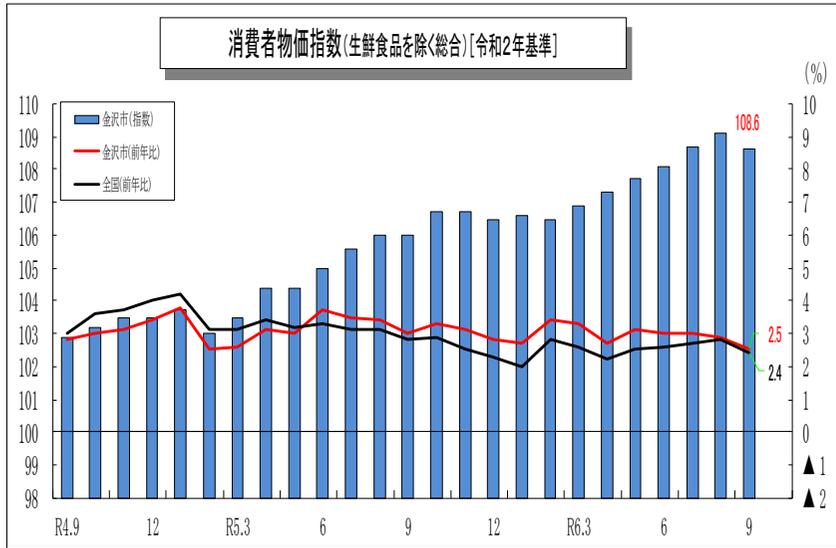
- アジア系の団体客に加え、欧米豪の観光客が増加している。(富山: 観光地)
- 徐々に客足が戻っていたが、9月の奥能登豪雨により、遠方からの客足はまた遠のいてしまったように感じる。(能登: 観光地)

**(その他サービス関連に係る主なヒアリング結果)**

- 国内旅行は、遠方への旅行も増えており、団体旅行も戻ってきている。10月以降も秋の行楽シーズンや北陸DCにより予約は好調。(福井: 旅行代理店)
- 奥能登豪雨について、団体の宴会がキャンセルになるなど一部影響はみられたものの、10月の宴会予約はコロナ前を上回るなど好調に推移している。宿泊についても、北陸DCの効果もあって予約は好調。(金沢: 宿泊業)

### (消費者物価)

9月の消費者物価(金沢市、生鮮食品を除く総合)は、前年を上回っている。

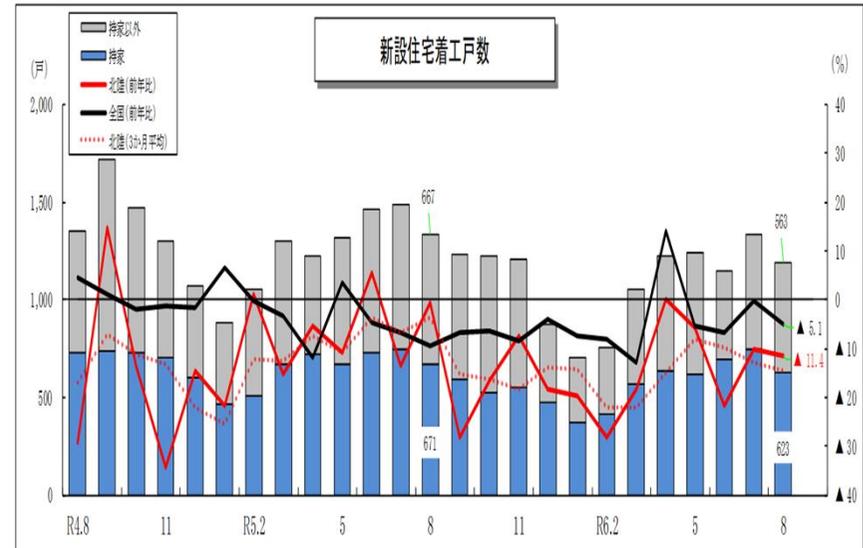


(資料)総務省

## 2. 住宅建設 … 弱い動きとなっている

8月の新設住宅着工戸数などを踏まえると、弱い動きとなっている。

※前回9月判断を据置き(令和6年3月以降、8か月連続の据置き)



(注)3か月平均は当局試算。

(資料)国土交通省、北陸財務局

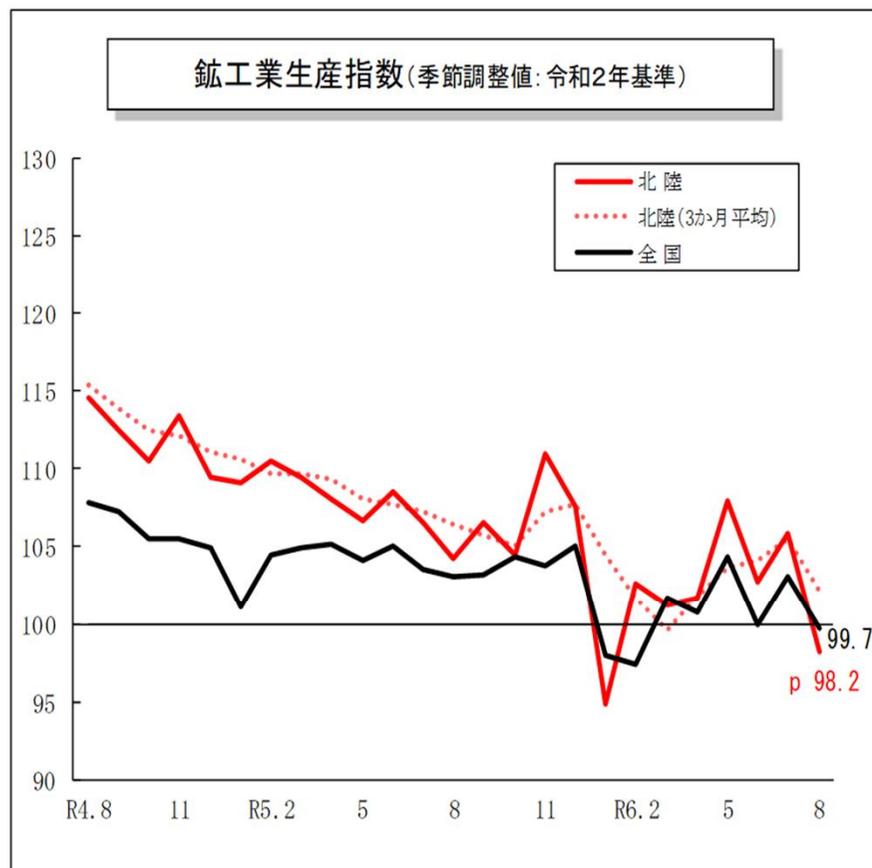
#### (主なヒアリング結果)

- 被災住宅の建替え・リフォーム需要により契約件数が増加している。
- 物価高が続いており、契約を足踏みする傾向がある。

### 3. 生産 … 持ち直しつつある

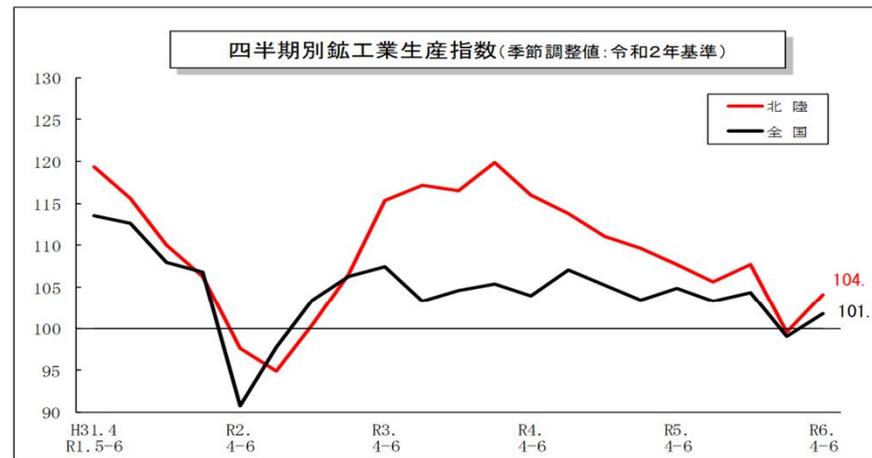
※ 前回9月判断を据置き(令和6年8月以降、3か月連続の据置き)

生産用機械が弱含んでいるものの、化学が緩やかに回復していることなどから、全体では持ち直しつつある。



(注) 3か月平均は当局試算。

(資料) 経済産業省、中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局



業種	判断	前回との比較
化学	緩やかに回復している	↗
電子部品・デバイス	下げ止まっている	→
生産用機械	弱含んでいる	↘
金属製品	下げ止まっている	→
繊維	緩やかに持ち直しつつある	→

業種別にみると、

(1) 化学は、大宗を占める医薬品で、緩やかに回復している。

※前回9月判断(「回復しつつある」)を上方修正  
(令和6年7月以来、3か月ぶりの上方修正)

(主なヒアリング結果)

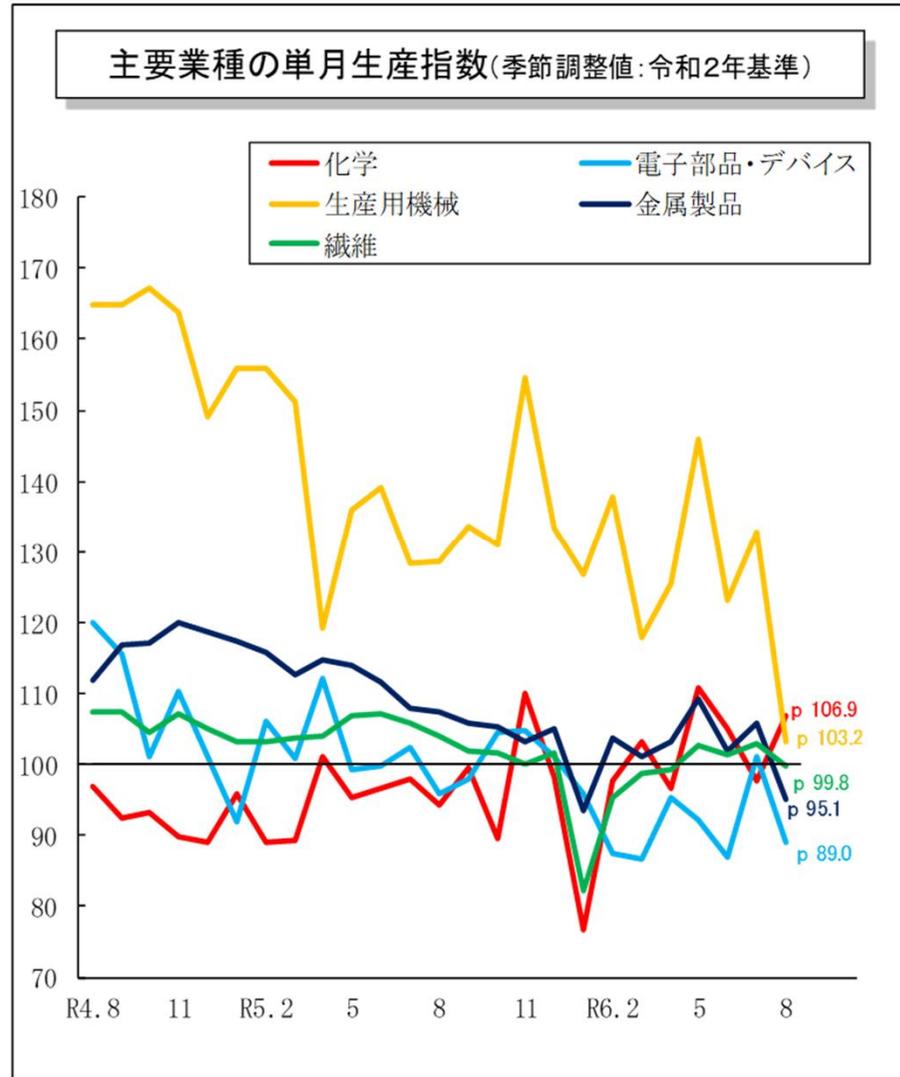
- 地震の影響で停止していた一部の製造ラインがようやく再稼働し、10月以降、地震前の生産体制に戻っている。
- 後発医薬品の需要が高まっており、増強した製造ラインの稼働率を徐々に高めている。
- 抗菌薬や新製品の需要が旺盛で、稼働率を限界近くまで引き上げており、生産ラインがひっ迫している。

(2) 電子部品・デバイスは、家電向けが弱まっているものの、スマートフォン向けが持ち直しつつあるほか、自動車向けが緩やかに持ち直しつつあることなどから、全体では下げ止まっている。

※前回9月判断を据置き(令和6年7月以降、4か月連続の据置き)

(主なヒアリング結果)

- スマホ向けは、北米メーカーの新モデル用の受注が堅調に推移しており、工場はフル生産で稼働している。
- 自動車向けは、EV車の成長鈍化はあるものの、電装化が進展していることから、前年を上回っている。
- 家電向けは、中国経済の低迷による中国メーカーの在庫滞留が続いており、回復の気配が感じられない。



(資料) 中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局

(3) **生産用機械**は、半導体製造装置が持ち直しているものの、繊維機械や金属加工機械が弱含んでいることなどから、全体では弱含んでいる。

※前回9月判断(「一進一退の状況にある」)を下方修正  
(令和6年5月以来、5か月ぶりの下方修正)

(主なヒアリング結果)

- 繊維機械は、海外向けで中国やバングラデシュなどからの受注が不振であり、生産計画を下方修正した。
- 金属加工機械は、国内は引き続き設備投資が進んでいないほか、海外でも、欧州で自動車業界の冷え込みがみられ動きが鈍い。

(4) **金属製品**は、大宗を占めるアルミ建材で、住宅用が弱まっているものの、ビル用に持ち直しの動きがみられることから、全体では下げ止まっている。

※前回9月判断を据置き(令和6年8月以降、3か月連続の据置き)

(主なヒアリング結果)

- 新築需要の減少に加え、コスト抑制や省エネ志向の高まりにより住宅の窓数も減っており、住宅用サッシが低迷している。
- ビル用では首都圏の駅前開発を中心に安定的な需要がある。

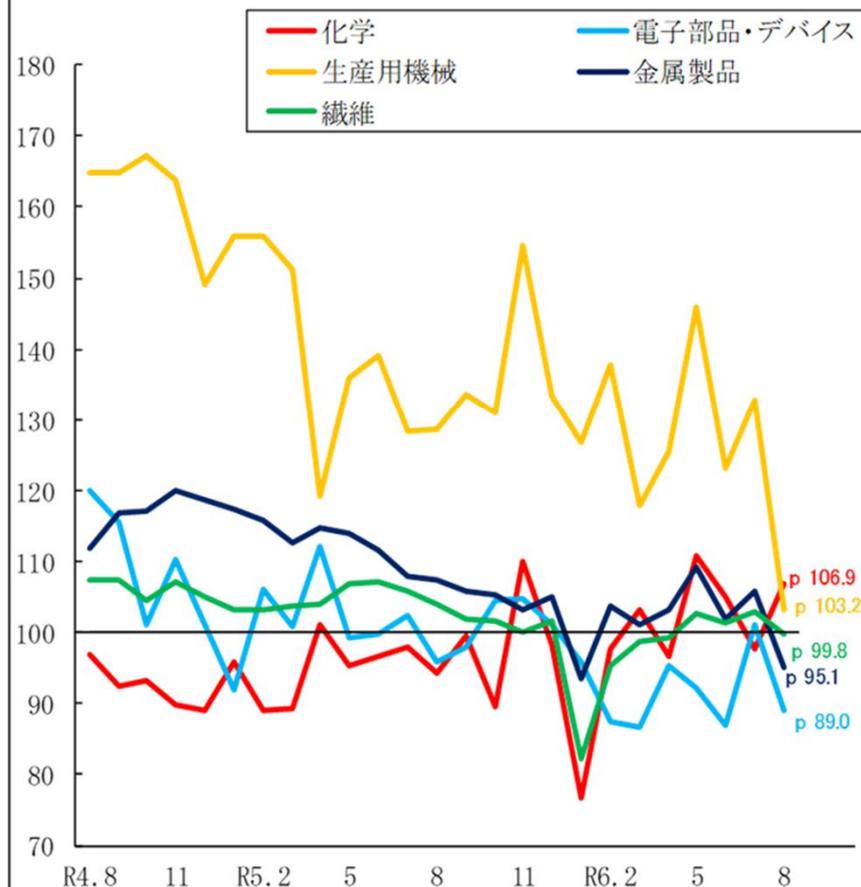
(5) **繊維**は、衣料向けが弱含んでいるものの、非衣料向けが持ち直しつつあることから、全体では緩やかに持ち直しつつある。

※前回9月判断を据置き(令和6年6月以降、5か月連続の据置き)

(主なヒアリング結果)

- 国内では残暑が長引き秋物衣料が売れておらず、欧州のアパレル市場も冷え込みが続いていることから、受注が振るわない。
- カーシート向けは、認証不正問題の影響が9月以降なくなり、堅調に推移している。

主要業種の単月生産指数(季節調整値:令和2年基準)

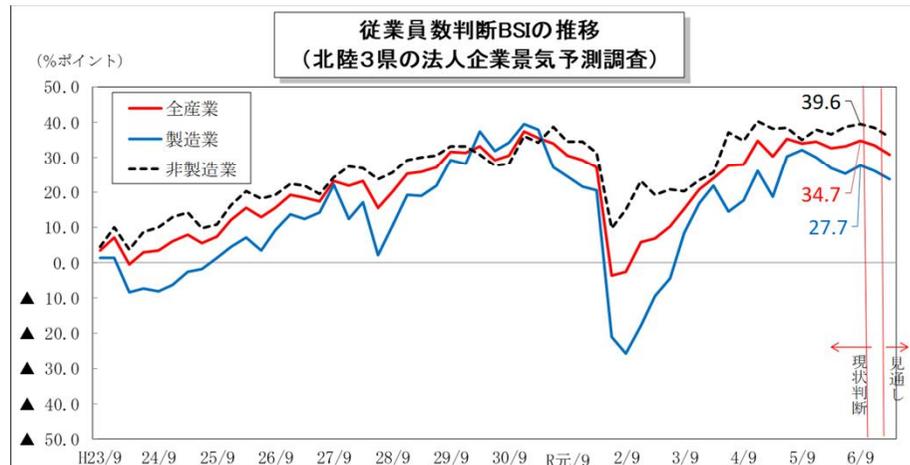
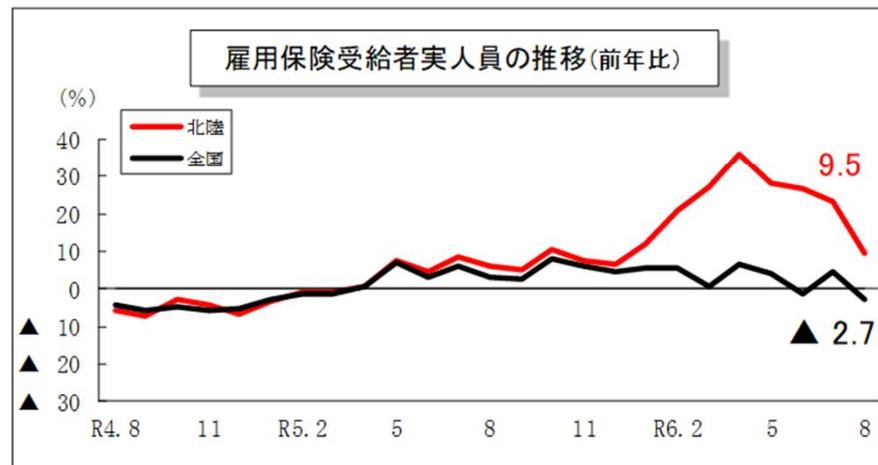
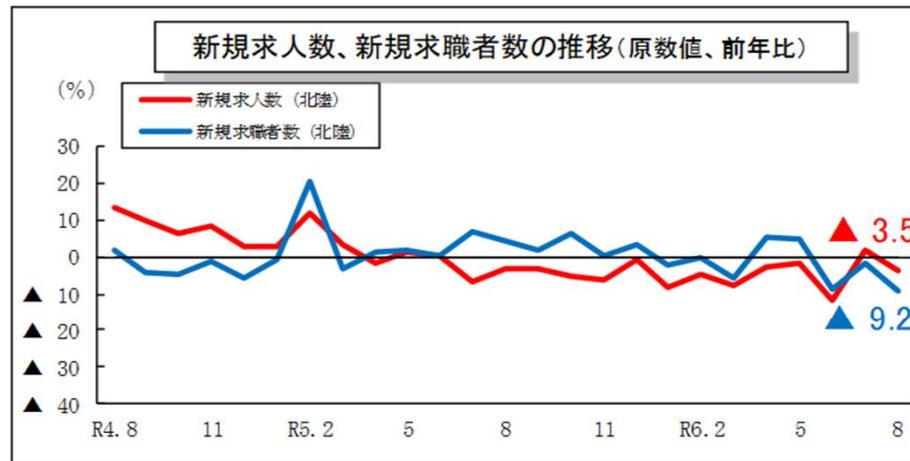
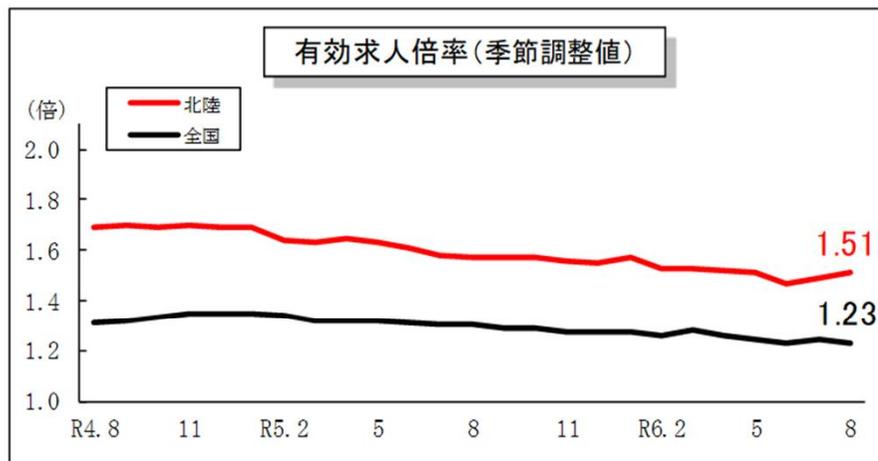


(資料) 中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局

## 4. 雇用情勢 … 地震の影響により一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している

8月の有効求人倍率は、上昇している。  
 新規求人数、新規求職者数ともに前年を下回っている。  
 雇用保険受給者実人員は、前年を上回っている。

※前回9月判断を据置き(令和4年7月以降、28か月連続の据置き)



(注1) 従業員数判断BSI = 「不足気味」回答社数構成比 - 「過剰気味」回答社数構成比。

(注2) 最新の現状判断は、令和6年9月末時点。

■主要経済指標 (1)【次ページに注記等あり】

項目			R6年6月	R6年7月	R6年8月	R6年9月	資料出所	備考		
個人消費	百貨店・スーパー販売額	全国	億円	18,675	18,990	18,664	…	経済産業省	-	
			前年比	6.9	1.3	4.5	…			
	北陸	百万円	32,646	32,744	p 34,966	…	中部経済産業局	-		
		前年比	0.4	▲ 0.0	p 3.4	…				
	コンビニエンスストア販売額	全国	億円	10,670	11,482	11,466	…	経済産業省	-	
			前年比	1.6	0.7	0.7	…			
	北陸	百万円	21,285	22,595	23,340	…	(北陸財務局)	-		
		前年比	2.2	0.4	…	…				
	ドラッグストア販売額	全国	億円	7,493	7,793	7,833	…	経済産業省	-	
			前年比	7.5	4.5	7.4	…			
	北陸	百万円	31,000	31,021	31,742	…	(北陸財務局)	-		
		前年比	8.9	4.8	5.5	…				
ホームセンター販売額	全国	億円	2,888	2,977	2,984	…	経済産業省	-		
		前年比	4.6	▲ 1.5	7.9	…				
北陸	百万円	5,523	5,268	5,388	…	(北陸財務局)	-			
	前年比	11.0	▲ 1.0	10.1	…					
家電大型専門店販売額	全国	億円	4,037	4,540	3,891	…	経済産業省	-		
		前年比	10.3	1.6	3.6	…				
北陸	百万円	8,302	8,807	7,775	…	(北陸財務局)	-			
	前年比	16.9	▲ 8.8	▲ 2.9	…					
乗用車新車登録・届出台数	全国	台	311,488	338,458	271,247	366,031	(北陸財務局)	・乗用車新車登録・届出台数は、日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会調べ。		
		前年比	▲ 6.1	5.5	▲ 3.2	0.8				
北陸	台	8,915	10,037	7,612	10,695	(北陸財務局)	-			
	前年比	▲ 7.4	6.8	▲ 8.6	▲ 2.5					
物価	消費者物価指数 (生鮮食品を除く総合)	全国	指数	107.8	108.3	108.7	108.2	総務省	-	
		(R2=100)	前年比	2.6	2.7	2.8	2.4			
金沢市	指数	108.1	108.7	109.1	108.6	(北陸財務局)	-			
	(R2=100)	前年比	3.0	3.0	2.9			2.5		
住宅着工	新設住宅着工戸数	全国	戸	66,285	68,014	66,819	…	国土交通省	-	
			前年比	▲ 6.7	▲ 0.2	▲ 5.1	…			
北陸	戸	1,145	1,338	1,186	…	(北陸財務局)	-			
	前年比	▲ 21.8	▲ 10.1	▲ 11.4	…					
生産	鉱工業生産指数 (季節調整値)	全国	(10,000)	100.0	103.1	99.7	…	経済産業省	-	
		(R2=100)	前月比	▲ 4.2	3.1	▲ 3.3	…			
		北陸	(10,000)	102.7	105.8	p 98.2	…	中部経済産業局	・鉱工業生産指数・北陸の業種別の(カッコ内)は、基準年の構成比。	
			(R2=100)	前月比	▲ 4.8	3.0	p ▲ 7.2			…
		化学	(1,540.5)	105.0	97.6	p 106.9	…			-
			前月比	▲ 5.2	▲ 7.0	p 9.5	…			
		電子部品・デバイス	(1,401.6)	87.0	101.2	p 89.0	…			-
			前月比	▲ 5.7	16.3	p ▲ 12.1	…			
		生産用機械	(1,233.3)	123.0	132.8	p 103.2	…			-
			前月比	▲ 15.8	8.0	p ▲ 22.3	…			
		金属製品	(905.8)	101.8	105.7	p 95.1	…			-
			前月比	▲ 6.8	3.8	p ▲ 10.0	…			
繊維	(579.9)	101.4	102.8	p 99.8	…	-				
	前月比	▲ 1.3	1.4	p ▲ 2.9	…					

## ■主要経済指標 (2)

	項目			R6年6月	R6年7月	R6年8月	R6年9月	資料出所	備考
雇用	有効求人倍率 (季節調整値)	全国	倍	1.23	1.24	1.23	...	厚生労働省	・有効求人倍率の北陸は、当局において各県の有効求人数、有効求職者数を合算して試算している。
		北陸	倍	1.47	1.49	1.51	...	(北陸財務局)	
	新規求人数(原数値)	北陸	前年比	▲11.6	1.8	▲3.5	...	(北陸財務局)	-
	新規求職者数(原数値)	北陸	前年比	▲8.8	▲1.6	▲9.2	...	(北陸財務局)	
	雇用保険受給者実人員	全国	前年比	▲1.2	4.6	▲2.7	...	厚生労働省	
北陸		前年比	26.7	23.2	9.5	...	(北陸財務局)		
公共事業	公共工事請負金額	全国	億円	17,197	15,307	10,706	12,752	東日本建設業保証 <small>(ほか)</small>	・公共工事請負金額は、東日本建設業保証、西日本建設業保証、北海道建設業信用保証の3社による公共工事前払金保証実績に基づくものである。
			前年比	▲5.3	10.9	▲3.9	▲1.9		
		北陸	億円	511	655	483	594	(北陸財務局)	
			前年比	4.8	52.9	33.5	76.0		
金融	預 (末残金)	全国	億円	11,519,227	11,503,995	11,489,398	...	日本銀行 信金中央金庫	・預金の金額は表面預金。 ・単位未満は、金額については切捨てで表示している。 ・国内銀行及び信用金庫の合計で、整理回収機構、ゆうちょ銀行を含まない。 ・北陸は、北陸3県内に店舗を置く国内銀行の合計(3県内店舗分)及び北陸3県内に本店を置く信用金庫の合計。 ・国内銀行は、銀行勘定を集計したもの。ただし、オフショア勘定を含まない。また、中央政府向け貸出を除く。
			前年比	2.4	2.0	1.8	...		
		北陸	億円	219,628	216,636	218,099	...	(北陸財務局)	
			前年比	3.9	2.9	3.6	...		
	貸 (末残金)	全国	億円	6,808,392	6,810,943	6,799,347	...	日本銀行 信金中央金庫	
			前年比	4.3	4.1	3.7	...		
北陸		億円	106,382	106,347	107,004	...	(北陸財務局)		
		前年比	0.8	▲0.0	0.6	...			
企業倒産	企業倒産件数	北陸	件	14	17	11	12	(株)東京商工リサーチ	・前年比については切捨てで表示している。
		前年比	0.0	30.7	▲38.8	▲7.6			
負債総額	北陸	百万円	2,193	1,547	764	1,464			
		前年比	72.2	▲14.1	▲67.3	14.0			

### 【注記】

- pは速報値である。季節調整等により、数値が改定される場合があるので、利用にあたっては可能な限り最新号によって下さい。  
また、資料出所先において、最新の指標や改定値等の公表が行われている場合があるので、利用にあたってはご留意下さい。
- 「北陸」は、断りが無い限り、石川、富山、福井の3県である。
- 各県分の資料のみ発表されているものを北陸3県分として集計等している場合は、資料出所欄に「(北陸財務局)」として表示している。
- 金額等の計数及び前年比は、断りが無い限り、四捨五入で表示している。